

2013年7月4日

株式会社 リクルートマーケティングパートナーズ

大学進学者の志望校検討時の重視項目 “教育内容”と“地元進学・学費”への関心が高まる

— 高校生の進路選択に関する調査「進学センサス2013」より、進路選択意識について —

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：富塚 優）が運営する、リクルート進学総研（所長：小林 浩）では、高校生の進路選択の現状を明らかにするため、進路選択行動の時期やプロセスについての調査を実施いたしました。この度調査結果がまとまりましたので、一部を抜粋してご報告申し上げます。

① 志望校検討時に重視する項目について

■ “教育内容”と“地元進学・学費”への関心が高まる →P3~P4

- ・ 志望校検討時の重視項目は、1位「学びたい学部・学科・コースがあること」（74.8%）次いで「校風や雰囲気が良いこと」（47.5%）となった。
- ・ 前々回調査（2009年）より2回連続で増加しているのは、「教育方針・カリキュラムが魅力的であること」「社会で役立つ力が身につくこと」等教育内容に関する項目と、「自宅から通えること」「学費が高くないこと」等地元進学・学費に関する項目。

■ 就職に有利と感ずるのは、

男子は「大手企業への就職実績」女子は「就職活動のサポート体制」 →P5

- ・ 就職に有利と感ずるポイントのトップは「企業への就職率が良いこと」（52.7%）。
- ・ 男女別にみると、男女とも1位は「企業への就職率が良いこと」（男子54.3%、女子51.3%）であるが、2位は男子が「大手・有名企業への就職実績がよいこと」（32.9%）に対し、女子は「就職活動のサポート体制がしっかりしていること」（40.1%）。

② 地元志向・学費について

■ 大学進学者の5割弱が地元進学を希望

前々回調査（2009年）より、2回連続で地元志向が高まる →P6~P7

また、4割が卒業後に地元に残ることを希望 →P8

■ 3人に1人が、授業料の安さを重視 →P9

- ・ 志望校検討時に、「授業料が安いこと」については33.4%が、「奨学金制度が充実していること」については22.9%が重視。

③ オープンキャンパスについて

■ 大学進学者の93.4%がオープンキャンパスに参加、参加校数は平均3.66校 →P10

- ・ オープンキャンパス参加率は2009年の87.8%から、5.6ポイントの増加。

■ 知りたかったこととして「学校で勉強できる内容」が増加、

行ってよかったこととして「在校生の話・対応」「模擬授業」が増加 →P11

※ 出版・印刷物へデータを転載する際には、“「進学センサス2013」リクルート進学総研調べ”と明記いただけますようお願い申し上げます。リクルートマーケティングパートナーズではこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指してまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

【リクルート進学総研 WEBサイト】

<http://souken.shingakunet.com/>

【調査概要】

- 調査目的：高校生の進路選択プロセス（行動・意識）の現状を把握する
- 調査期間：2013年3月19日（火）～4月8日（月）投函締切（4月15日（月）到着分までを入力対象とした）
- 調査方法：質問紙による郵送法
- 調査対象：2013年に高校を卒業した全国の男女50,000人
 ※平成24年度学校基本調査の「全日制・本科3年生生徒数（県別）」を基に、リクルートが保有するリスト（注）より調査対象とする数を抽出
 （注）リクルートが保有するリストとは、リクルートが発行する進学情報誌「リクナビ進学ブック」および、配信する進学情報WEBサービス「リクナビ進学」（<http://shingakunet.com>）会員リスト
- 有効回答数：4,985人（回答率10.0%） うち、本プレスリリースでは大学進学者3,256人が対象

《2011年同調査概要》

- ・調査期間：2011年3月18日（金）～4月8日（金）投函締切
- ・調査方法：2013年調査同様
- ・調査対象：2011年に高校を卒業した全国の男女80,544人。ただし東日本大震災の影響を考慮し、青森、秋田、山形、岩手、宮城、福島的全エリアと、茨城の一部エリアを除いた。割付方法は2013年調査同様
- ・有効回答数：10,882人（回答率13.5%） うち、本プレスリリースでは大学進学者7,502人が対象

《2009年同調査概要》

- ・調査期間：2009年3月19日（木）～4月8日（水）投函締切
- ・調査方法：2013年調査同様
- ・調査対象：2009年に高校を卒業した全国の男女89,000人
- ・有効回答数：13,397人（回答率15.1%） うち、本プレスリリースでは大学進学者8,481人が対象

【本集計対象者（大学進学者）プロフィール】

■性別（大学進学者／単一回答）

		調査数	男性	女性	無回答
2013年 大学進学者 全体		3256	44.2	55.3	0.5
2011年 大学進学者 全体		7502	43.8	55.2	1.0
2009年 大学進学者 全体		8481	46.9	52.5	0.6

【2013年属性別】

文理別		調査数	男性	女性	無回答
文系		1869	37.8	61.7	0.4
理系		1234	53.9	45.4	0.7
どちらでもない		150	43.3	56.7	—

■高校在籍時の文理の志向（大学進学者／単一回答）

		調査数	文系	理系	あてはまらない	無回答
2013年 大学進学者 全体		3256	57.4	37.9	4.6	0.1
2011年 大学進学者 全体		7502	59.7	35.5	4.1	0.8
2009年 大学進学者 全体		8481	59.4	35.8	4.7	0.2

【2013年属性別】

男女別		調査数	文系	理系	あてはまらない	無回答
男性		1439	49.1	46.2	4.5	0.1
女性		1800	64.1	31.1	4.7	0.1

■高校所在エリア（大学進学者／単一回答） *2011年は、東日本大震災の影響を考慮し「東北」は調査対象から除いている

		調査数	北海道	東北	北関東・甲信越	南関東	東海	北陸	関西	中国・四国	九州・沖縄	その他	無回答
2013年 大学進学者 全体		3256	2.9	5.6	9.5	33.0	13.3	2.8	17.4	8.0	7.1	—	0.6
2011年 大学進学者 全体		7502	2.9	*	9.3	35.4	13.4	2.3	19.3	8.0	8.9	—	0.4
2009年 大学進学者 全体		8481	3.2	6.5	10.4	30.9	12.4	1.9	18.0	7.9	8.8	0.0	0.1

【2013年属性別】

男女別		調査数	北海道	東北	北関東・甲信越	南関東	東海	北陸	関西	中国・四国	九州・沖縄	その他	無回答
男性		1439	3.1	5.4	9.1	33.1	13.9	3.0	17.2	7.8	7.2	—	0.1
女性		1800	2.7	5.7	9.8	33.1	12.8	2.7	17.6	8.2	7.0	—	0.3

【2013年属性別】

文理別		調査数	北海道	東北	北関東・甲信越	南関東	東海	北陸	関西	中国・四国	九州・沖縄	その他	無回答
文系		1869	2.2	4.8	9.0	33.6	14.3	2.7	18.7	7.8	6.2	—	0.6
理系		1234	3.8	6.0	10.3	32.7	11.7	3.0	15.5	8.3	8.2	—	0.6
どちらでもない		150	4.0	11.3	8.0	27.3	13.3	2.7	16.0	8.0	9.3	—	—

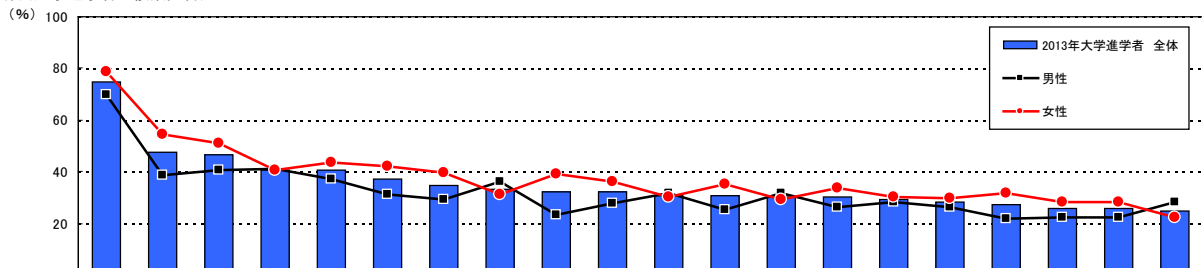
■ 志望校検討時に最も重視するのは「学びたい学部・学科・コースがあること」

- 志望校検討時の重視項目は、1位「学びたい学部・学科・コースがあること」(74.8%)、次いで「校風や雰囲気が良いこと」(47.5%)、「自分の興味や可能性が広げられること」(46.5%)。

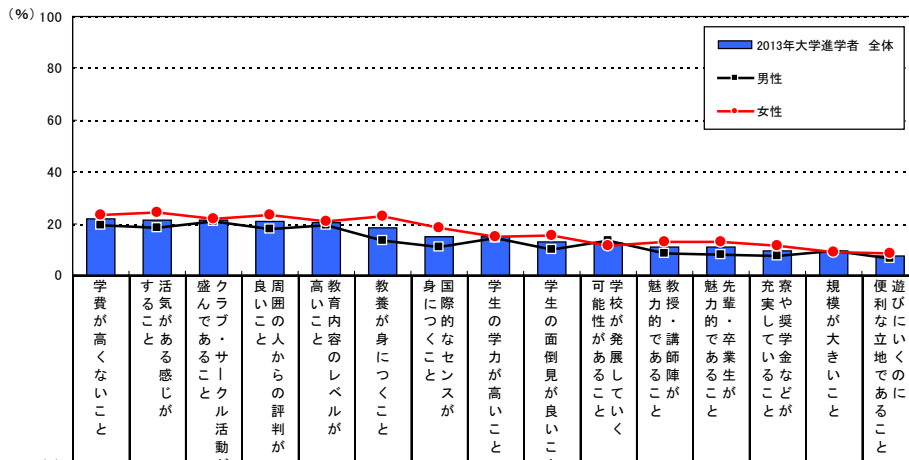
■ 男子は就職、女子は校風や雰囲気

- 男女別にみると、男女とも1位は「学びたい学部・学科・コースがあること」(男子70.0%/女子78.6%)であるが、2位は男子が「就職に有利であること」(40.9%)、女子は「校風や雰囲気が良いこと」(54.6%)。

■ 志望校検討時の重視項目 (大学進学者/複数回答)



調査数		74.8	47.5	46.5	40.8	40.7	37.3	34.9	33.3	32.3	32.3	30.9	30.7	30.3	30.2	29.4	28.3	27.3	25.6	25.6	24.7	
2013年	大学進学者 全体	3256	74.8	47.5	46.5	40.8	40.7	37.3	34.9	33.3	32.3	32.3	30.9	30.7	30.3	30.2	29.4	28.3	27.3	25.6	25.6	24.7
男女別	男性	1439	70.0	38.4	40.7	40.9	37.0	31.4	29.4	35.9	23.3	27.9	31.6	25.1	31.6	26.1	28.3	26.3	21.7	22.4	22.5	28.1
	女性	1800	78.6	54.6	51.2	40.6	43.5	41.9	39.4	31.2	39.3	35.9	30.2	35.2	29.2	33.7	30.2	29.8	31.8	28.2	28.0	22.2
文理別	文系	1869	75.2	51.8	48.4	39.8	42.4	39.1	34.0	32.1	35.0	31.7	33.2	31.9	31.7	33.4	29.2	29.0	24.7	27.0	27.8	27.6
	理系	1234	74.8	42.1	43.9	42.1	38.2	35.1	35.6	37.3	29.3	34.4	27.2	29.1	29.4	25.9	29.9	28.1	30.9	23.2	22.4	21.8
	どちらでもない	150	88.7	38.7	44.7	43.3	40.0	33.3	41.3	16.0	24.0	22.7	32.7	28.0	20.0	26.0	28.0	20.0	30.0	27.3	24.7	13.3



調査数		21.6	21.5	21.3	20.9	20.1	18.4	15.0	14.7	13.0	12.4	10.9	10.7	9.5	9.2	7.4	9.6	
2013年	大学進学者 全体	3256	21.6	21.5	21.3	20.9	20.1	18.4	15.0	14.7	13.0	12.4	10.9	10.7	9.5	9.2	7.4	9.6
男女別	男性	1439	19.5	18.3	20.9	17.8	19.5	13.2	10.8	14.5	10.1	13.4	8.3	7.9	7.2	9.6	6.3	9.4
	女性	1800	23.1	24.1	21.6	23.4	20.6	22.7	18.4	14.8	15.3	11.6	12.9	13.0	11.4	8.8	8.3	9.8
文理別	文系	1869	19.0	23.6	23.4	23.3	19.7	21.5	19.6	15.4	13.9	11.8	11.6	12.5	9.2	10.1	8.4	10.0
	理系	1234	26.5	19.0	17.5	17.9	21.9	14.4	8.8	14.6	11.8	13.2	9.7	7.7	9.6	8.3	6.3	9.0
	どちらでもない	150	12.7	17.3	25.3	16.7	11.3	12.7	6.7	14.7	12.7	14.0	12.0	12.7	12.7	5.3	4.0	10.0

■ 100.0 「2013年 大学進学者 全体」より5ポイント以上高い ※「2013年 大学進学者 全体」の降順ソート
 ■ 100.0 「2013年 大学進学者 全体」より5ポイント以上低い

イメージ・雰囲気から、実利的項目に関心が移行

■ “教育内容”と“地元進学・学費”への関心が高まる

・前々回調査（2009年）より2回連続で増加している項目は、

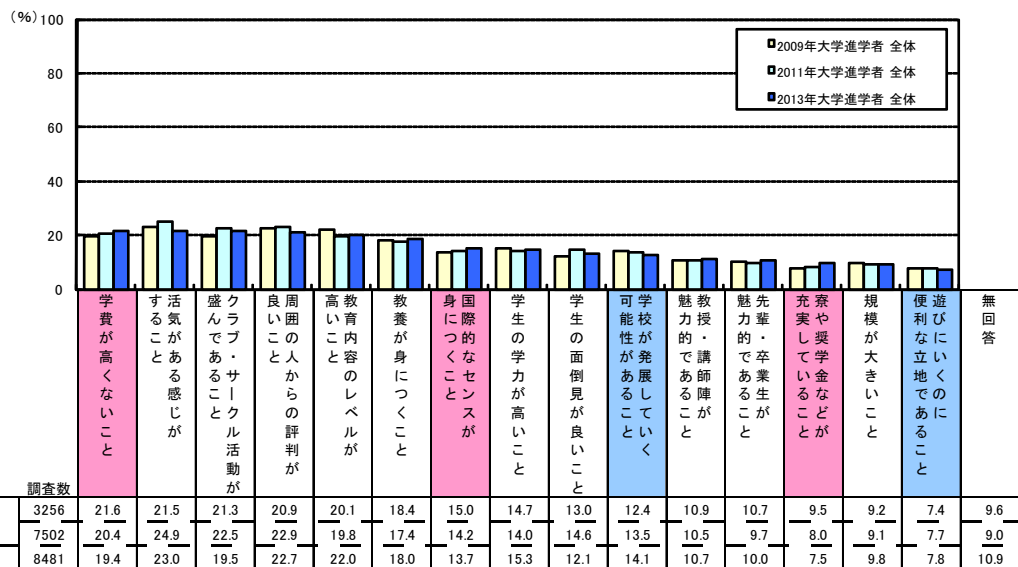
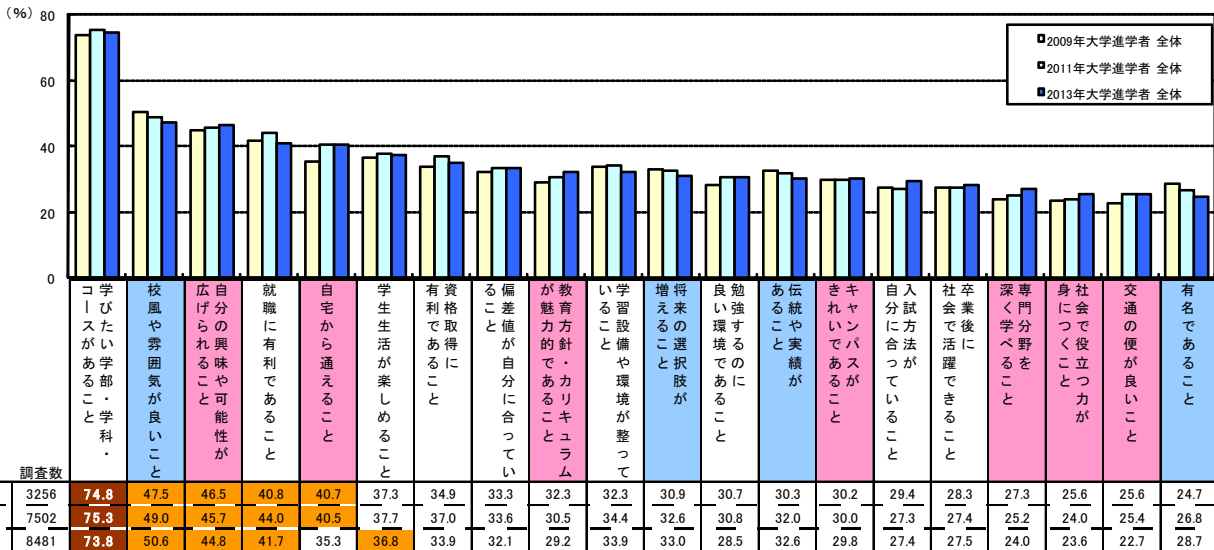
- ①教育内容に関する項目「自分の興味や可能性が広げられること」「教育方針・カリキュラムが魅力的であること」「専門分野を深く学べること」「社会で役立つ力が身につくこと」「国際的なセンスが身につくこと」
 - ②地元進学・学費に関する項目「自宅から通えること」「交通の便が良いこと」「学費が高くないこと」「寮や奨学金などが充実していること」
- ほか、「キャンパスがきれいであること」

■ “校風・伝統・知名度”への関心が薄まる

・前々回調査（2009年）より2回連続で減少している項目は、

- 「校風や雰囲気が良いこと」「将来の選択肢が増えること」「伝統や実績があること」「有名であること」「学校が発展していく可能性があること」「遊びに行くのに便利な立地であること」

■ 志望校検討時の重視項目（大学進学者／複数回答） 2009年から2回連続で増加している項目にピンク色、減少している項目に青色の網掛けをしている



※2013年 大学進学者 全体」の降順ソート 100.0 最も高い 100.0 2～5番目に高い

【志望校検討時の地元選択志向①属性別】

■ 大学進学者の約半数が地元進学※1を希望

地元に残りたい 48.7% > 地元を離れたい 18.4%

■ 前々回調査（2009年）より、2回連続で地元志向が高まる

地元に残りたい 2009年 39.0% → 2011年 46.1% → 2013年 48.7%

■ 志望校検討時の地元選択志向（大学進学者／単一回答）

	残りだいたい・計			どちらでも良かった	離れだいたい・計			無回答	残り たい・計	離れ たい・計
	ぜひ地元に残りたいと思っていた	できれば地元に残りたいと思っていた			できれば地元を出たいと思っていた	ぜひ地元を離れたいと思っていた				
●凡例										
2013年 大学進学者 全体 (n=3256)	31.8%	16.9	22.1	9.6	8.8	10.8	48.7	18.4		
2011年 大学進学者 全体 (n=7502)	30.7	15.4	24.1	11.0	9.3	9.5	46.1	20.3		
2009年 大学進学者 全体 (n=8481)	24.5	14.5	24.6	11.3	9.9	15.2	39.0	21.1		

【2013年属性別】

男女別	男性 (n=1439)	28.8	18.2	23.3	9.8	8.8	11.0	47.0	18.6
	女性 (n=1800)	33.9	15.9	21.2	9.4	8.8	10.7	49.9	18.2
文理別	文系 (n=1869)	33.5	15.8	20.8	10.0	8.7	11.3	49.3	18.7
	理系 (n=1234)	28.9	18.8	24.1	9.2	9.2	9.8	47.7	18.3
	どちらでもない (n= 150)	34.7	14.7	22.0	8.0	7.3	13.3	49.3	15.3

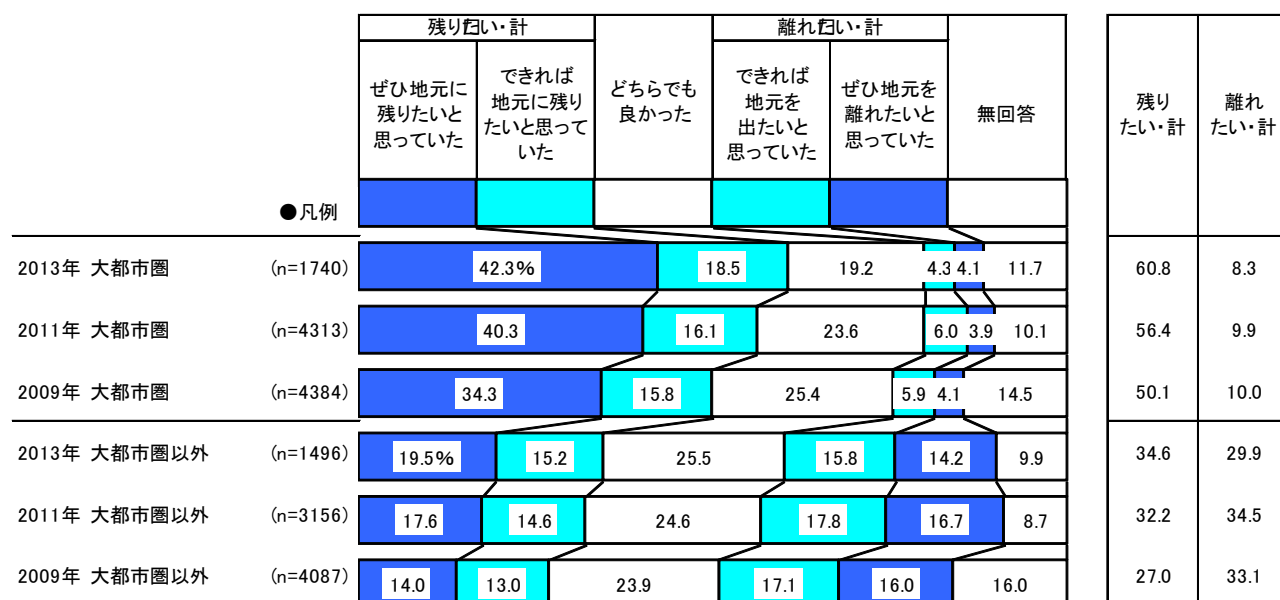
※1 地元の定義は、2009年、2011年は定義なし。2013年のみ「自宅から通える範囲」とした。

※質問紙の回答の「ぜひ地元に残りたいと思っていた」「できれば地元に残りたいと思っていた」をあわせて「残りたい」、「ぜひ地元を離れたいと思っていた」「できれば地元を離れたいと思っていた」をあわせて「離れたい」とした。

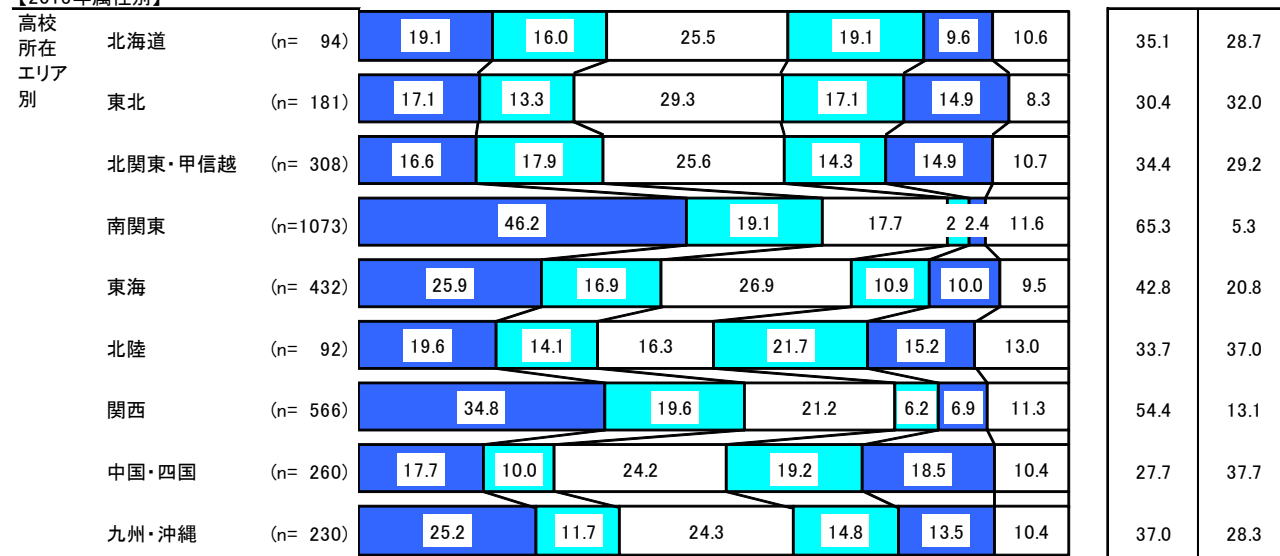
■ 地元志向は大都市圏がその他エリアを上回る

- ・ 県規模別にみると、「地元に残りたい」は、大都市圏 60.8%、その他エリア 34.6%
- ・ 前々回調査（2009年）からの変化を、県規模別にみると、
 大都市圏 地元に残りたい 2009年 50.1% → 2011年 56.4% → 2013年 60.8%
 その他 地元に残りたい 2009年 27.0% → 2011年 32.2% → 2013年 34.6%

■ 志望校検討時の地元選択志向(大学進学者/単一回答) : 県規模別時系列推移および2013年高校所在エリア別



【2013年属性別】



※県規模別の定義は以下の通り。

大都市圏 : 東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫 の合計
 大都市圏以外: 上記以外 の合計

※地元の定義は、2009年、2011年は定義なし。2013年のみ「自宅から通える範囲」とした。

※質問紙の回答の「ぜひ地元に残りたいと思っていた」「できれば地元に残りたいと思っていた」をあわせて「残りたい」、「ぜひ地元を離れたいと思っていた」「できれば地元を離れたいと思っていた」をあわせて「離れたい」とした。

【大学卒業後の地元選択志向】

■ 大学進学者の4割が、大学卒業後に地元に残ることを希望

・ 地元に残りたい 41.8% > 地元を離れたい 17.9%

■ 大都市圏がその他エリアを上回る

・ 県規模別にみると、
「地元に残りたい」は、大都市圏 48.0%、その他エリア 34.8%

■ 大学・短期大学・専門学校卒業後の地元選択志向(大学進学者／単一回答)

	残り白い・計		どちらでも良い	離れ白い・計		無回答	残り たい・計	離れ たい・計
	ぜひ地元に残りたいと思っている	できれば地元に残りたいと思っている		できれば地元を出たいと思っている	ぜひ地元を離れたいと思っている			
● 凡例								
2013年 大学進学者 全体 (n=3256)	24.0%	17.8	27.4	9.2	8.8	12.9	41.8	17.9
男女別 男性 (n=1439)	21.4	19.9	28.3	8.7	7.6	14.0	41.3	16.3
女性 (n=1800)	25.9	16.3	26.6	9.6	9.6	12.1	42.2	19.2
文理別 文系 (n=1869)	24.6	17.2	26.6	8.9	9.3	13.3	41.8	18.2
理系 (n=1234)	22.9	18.1	29.3	9.3	8.3	12.1	40.9	17.7
どちらでもない (n= 150)	24.7	23.3	20.7	10.7	6.0	14.7	48.0	16.7
高校 所在 エリア 別								
北海道 (n= 94)	18.1	22.3	27.7	10.6	9.6	11.7	40.4	20.2
東北 (n= 181)	14.4	16.6	31.5	17.1	11.0	9.4	30.9	28.2
北関東・甲信越 (n= 308)	13.6	18.8	28.9	10.4	15.6	12.7	32.5	26.0
南関東 (n=1073)	32.5	18.5	26.2	5.4	4.0	13.3	51.1	9.4
東海 (n= 432)	23.1	18.3	27.5	11.3	7.6	12.0	41.4	19.0
北陸 (n= 92)	22.8	14.1	23.9	13.0	13.0	13.0	37.0	26.1
関西 (n= 566)	22.4	19.3	29.0	8.0	8.1	13.3	41.7	16.1
中国・四国 (n= 260)	20.0	13.1	26.2	13.8	13.5	13.5	33.1	27.3
九州・沖縄 (n= 230)	17.8	16.1	24.8	10.9	15.7	14.8	33.9	26.5
県 規模別								
大都市圏 (n=1740)	29.8	18.2	26.9	6.5	5.1	13.5	48.0	11.6
大都市圏以外 (n=1496)	17.2	17.6	27.7	12.4	12.9	12.2	34.8	25.3

※地元の定義は、「自宅から通える範囲」とした。

※質問紙の回答の「ぜひ地元に残りたいと思っている」「できれば地元に残りたいと思っている」をあわせて「残りたい」、「ぜひ地元を離れたいと思っている」「できれば地元を離れたいと思っている」をあわせて「離れたい」とした。

【志望校検討時の進学関連費用の重視度】

■ 3人に1人が、授業料の安さを重視

- 志望校検討時の重視度は、「授業料が安いこと」については33.4%、「奨学金制度が充実していること」については22.9%が重視。

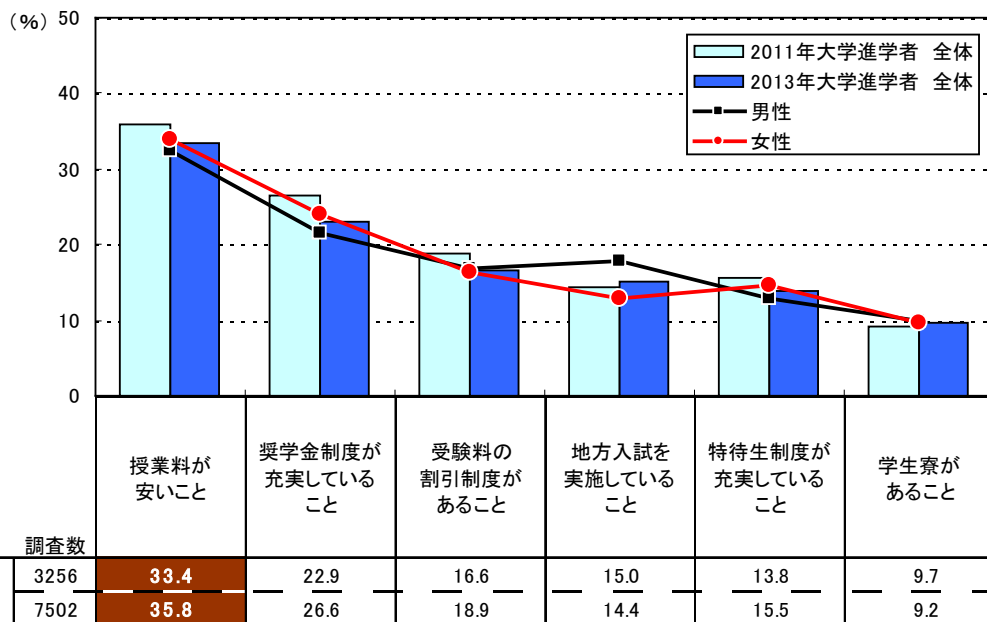
■ 文系より理系のほうが、授業料の安さを重視

「授業料が安いこと」を重視 文系 30.0% < 理系 40.0%

■ 北海道、東北、北陸、中国・四国、九州・沖縄エリアでは授業料の安さを重視する大学進学者が4割を超える

「授業料が安いこと」を重視 北海道 42.6% / 東北 45.3%
北陸 45.7% / 中国・四国 41.9%
九州・沖縄 42.6%

■ 進学関連費用への重視度(大学進学者/各単一回答)



【2013年属性別】

男女別	属性	調査数	授業料が安いこと	奨学金制度が充実していること	受験料の割引制度があること	地方入試を実施していること	特待生制度が充実していること	学生寮があること
男女別	男性	1439	32.4	21.5	16.8	17.7	12.8	9.8
	女性	1800	33.9	24.1	16.4	12.8	14.5	9.7
文理別	文系	1869	30.0	22.0	17.5	16.2	12.1	9.1
	理系	1234	40.0	23.3	15.2	13.9	15.5	10.3
	どちらでもない	150	23.3	31.3	16.7	8.7	20.7	12.0
高校所在エリア別	北海道	94	42.6	24.5	17.0	14.9	18.1	16.0
	東北	181	45.3	30.4	11.6	18.8	19.3	14.9
	北関東・甲信越	308	37.7	23.4	17.5	23.1	18.5	13.3
	南関東	1073	25.2	20.3	13.2	5.4	10.2	5.4
	東海	432	31.9	19.2	21.3	23.6	10.9	8.3
	北陸	92	45.7	25.0	16.3	34.8	18.5	5.4
	関西	566	32.2	23.3	21.0	12.5	13.1	8.3
	中国・四国	260	41.9	24.6	14.6	25.8	16.2	15.4
	九州・沖縄	230	42.6	32.2	17.4	15.7	21.3	20.4

※「2013年 大学進学者 全体」の降順ソート 全体値時系列→ **100.0** 最も高い
100.0 「2013年 大学進学者 全体」より5ポイント以上高い
100.0 「2013年 大学進学者 全体」より5ポイント以上低い

【オープンキャンパスの参加状況】

■ 大学進学者の93.4%がオープンキャンパスに参加

・ 前々回調査（2009年）の87.8%から、5.6ポイントの増加。

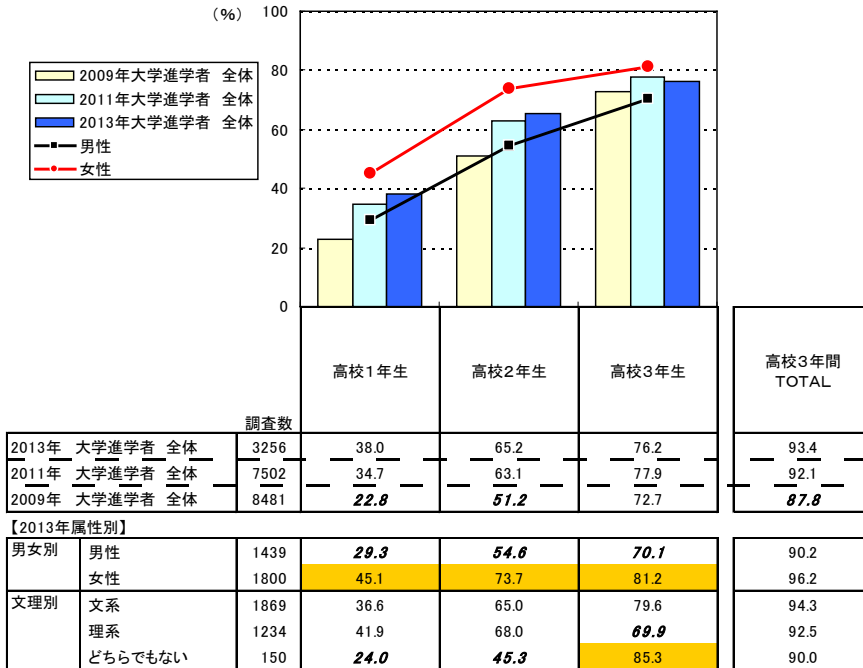
■ 女子の参加率が男子を上回る

・ 男女別にみると、すべての学年で女子が男子を上回っており、女子のほうがオープンキャンパス参加に積極的であることがわかる。

■ 参加校数は平均3.66校

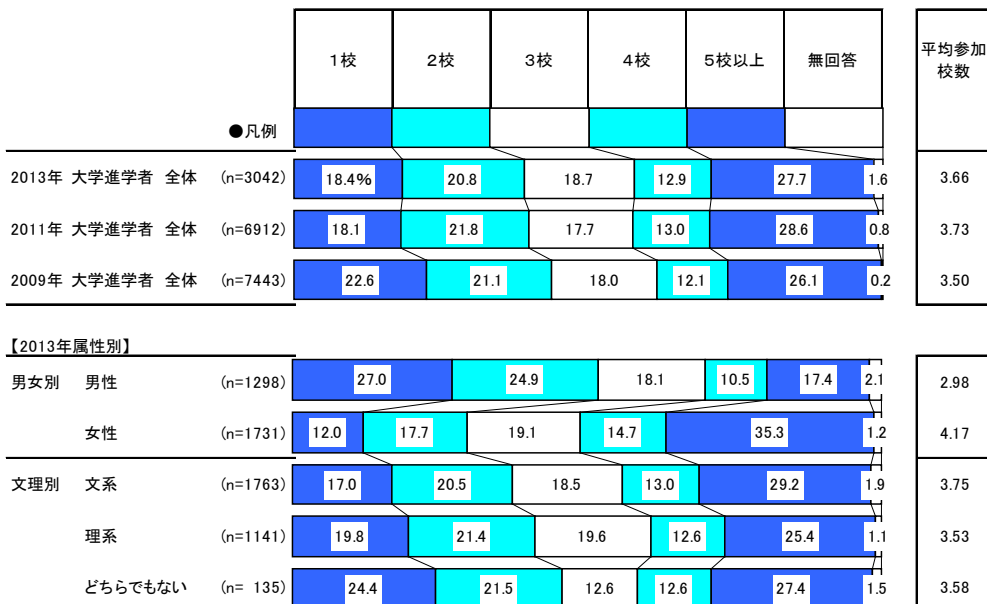
・ 男女別にみると、男子が平均2.98校に対し、女子が4.17校と上回っている。

■ オープンキャンパス参加経験（大学進学者／各単一回答）



100.0 「2013年 大学進学者 全体」より5ポイント以上高い
100.0 「2013年 大学進学者 全体」より5ポイント以上低い

■ オープンキャンパス参加校数（オープンキャンパス参加者／単一回答）



※質問紙では、「オープンキャンパス」「学校見学会」「体験入学」などの学校主催のイベントについて、という記載をしたが、本リリースではまとめて「オープンキャンパス」とした。

【オープンキャンパスで知りたかったこと、行ってよかったこと】

■ 知りたかったこととして「学校で勉強できる内容」が増加

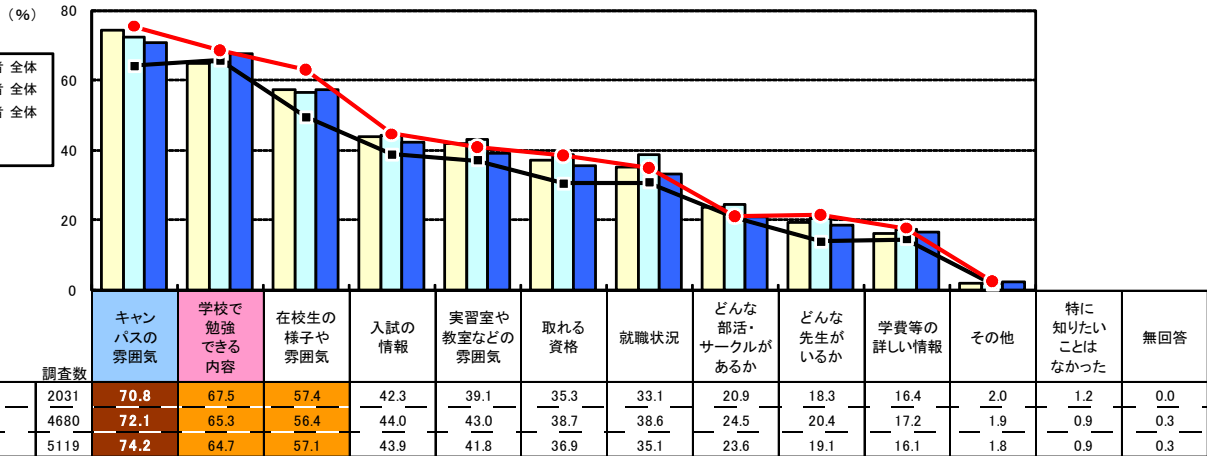
- ・オープンキャンパスで知りたかったこと1位は「キャンパスの雰囲気」(70.8%)、次いで「学校で勉強できる内容」(67.5%)、「在校生の様子や雰囲気」(57.4%)であった。
- ・前々回調査(2009年)より2回連続で増加している項目は、「学校で勉強できる内容」。

■ 行ってよかったこととして「在校生の話・対応」「模擬授業」が増加

- ・オープンキャンパスに行ってよかったこと1位は「キャンパスを見られたこと」(84.8%)、次いで「施設・設備を見られたこと」(51.0%)、「在校生の話・対応」(40.9%)。
- ・前々回調査(2009年)より2回連続で増加している項目は、「在校生の話・対応」「模擬授業」。

■ 進学先校オープンキャンパスで知りたかったこと(進学先校オープンキャンパス参加者/複数回答)

2009年から2回連続で増加している項目にピンク色、減少している項目に青色の網掛けをしている

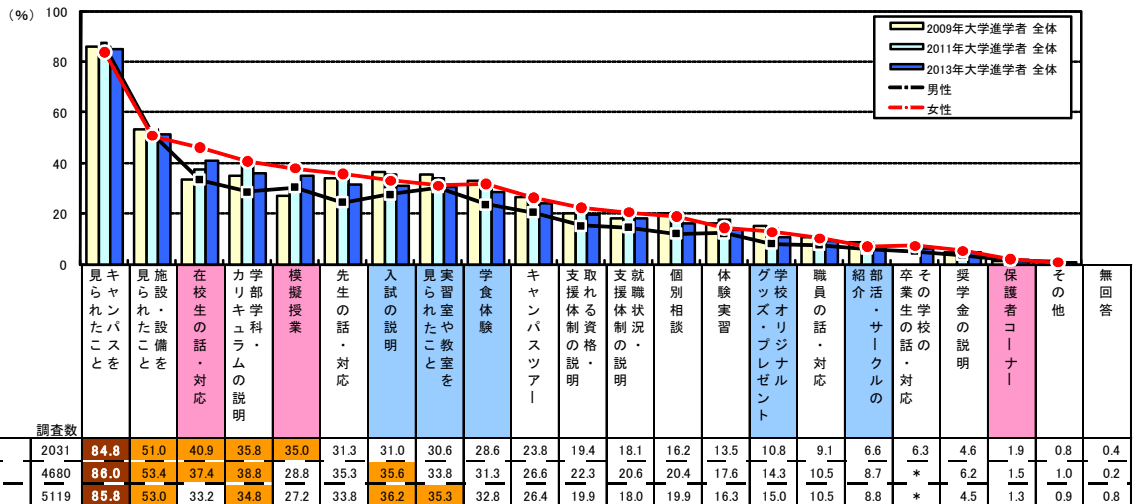


【2013年属性別】

男女別	男性	802	64.0	65.6	49.4	38.8	36.9	30.4	30.5	20.6	13.7	14.3	1.4	1.5	—
女性	1220	75.4	68.6	63.0	44.6	40.7	38.4	34.8	21.1	21.4	17.6	2.5	1.1	0.1	
文理別	文系	1192	73.4	70.5	59.6	43.0	33.1	36.0	34.1	22.3	18.6	16.1	1.9	0.7	—
理系	720	66.8	63.2	54.3	40.8	48.2	31.7	29.9	16.9	16.8	15.0	1.7	2.4	0.1	
どちらでもない	117	67.5	65.0	53.0	45.3	43.6	50.4	41.9	29.9	23.9	27.4	5.1	—	—	

※「2013年 大学進学者 全体」の降順ソート 全体値時系列部分... 100.0 最も高い 100.0 2~3番目に高い
 100.0 「2013年 大学進学者 全体」より5ポイント以上高い
 100.0 「2013年 大学進学者 全体」より5ポイント以上低い

■ 進学先校オープンキャンパスのよかった点(進学先校オープンキャンパス参加者/複数回答) 2009年から2回連続で増加している項目に青色、減少している項目にピンク色の網掛けをしている



【2013年属性別】

男女別	男性	802	86.3	51.6	33.2	29.7	30.3	24.4	27.7	30.2	23.7	20.3	15.1	14.5	12.1	12.3	8.1	7.5	6.1	5.0	3.7	1.6	1.0	0.4
女性	1220	83.8	50.7	46.0	40.7	37.8	35.8	33.0	31.0	31.8	26.1	22.3	20.5	18.9	14.2	12.7	10.2	7.0	7.2	5.2	2.1	0.7	0.4	
文理別	文系	1192	86.5	48.5	42.2	37.9	37.8	32.6	31.9	24.7	29.7	24.4	20.0	18.7	16.7	10.1	11.8	9.2	7.0	6.8	4.1	2.0	0.8	0.3
理系	720	82.9	54.3	39.3	33.2	29.8	28.6	29.6	38.8	26.4	23.2	17.4	16.7	15.1	17.9	8.9	8.5	5.4	5.1	4.7	1.1	1.0	0.6	
どちらでもない	117	80.3	55.6	37.6	31.6	37.6	34.2	31.6	39.3	29.9	22.2	27.4	20.5	18.8	21.4	12.8	12.0	11.1	8.5	9.4	6.0	—	—	

※「2013年 大学進学者 全体」の降順ソート 全体値時系列... 100.0 最も高い 100.0 2~5番目に高い
 100.0 「2013年 大学進学者 全体」より5ポイント以上高い ※「その学校の卒業生の話・対応」は2011年・2009年で該当項目なし
 100.0 「2013年 大学進学者 全体」より5ポイント以上低い